

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年4月30日(2021.4.30)

【公表番号】特表2020-511502(P2020-511502A)

【公表日】令和2年4月16日(2020.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2020-015

【出願番号】特願2019-551969(P2019-551969)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/04	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/12	(2006.01)
A 6 1 P	9/06	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
C 0 7 K	16/28	(2006.01)
C 1 2 N	15/13	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	9/04	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	9/12	
A 6 1 P	9/06	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	39/395	D
C 0 7 K	16/28	Z N A
C 1 2 N	15/13	

【手続補正書】

【提出日】令和3年3月19日(2021.3.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

心不全の治療および／または予防に使用するためのA c t R I I 受容体アンタゴニストであって、

該心不全が、心臓弁膜症、冠動脈疾患、高血圧、糖尿病、老化、不整脈、周産期心筋症、ストレス心筋症、毒性または感染性因子、遺伝性心筋症、または特発性拡張型心筋症の少なくとも1つによって引き起こされるまたは関連付けられる、A c t R I I 受容体アンタゴニスト。

【請求項2】

前記心臓弁膜症が大動脈狭窄症である、請求項1に記載の心不全の治療および／または予防に使用するためのA c t R I I 受容体アンタゴニスト。

【請求項3】

前記心臓弁膜症が大動脈狭窄症である、請求項2に記載の状態に関連する構造的および/または機能的な心臓の異常の治療に使用するためのA c t R I I受容体アンタゴニスト。

【請求項4】

該A c t R I I受容体アンタゴニストが抗A c t R I I受容体抗体である、請求項1～3のいずれか一項に記載の使用するためのA c t R I I受容体アンタゴニスト。

【請求項5】

該A c t R I I受容体アンタゴニストが、配列番号181のアミノ酸19～134（配列番号182）からなるA c t R I I Bのエピトープに結合する抗A c t R I I抗体である、請求項4に記載の使用するためのA c t R I I受容体アンタゴニスト。

【請求項6】

該抗体が

(a) 配列番号1の重鎖可変領域C D R 1；配列番号15の重鎖可変領域C D R 2；配列番号29の重鎖可変領域C D R 3；配列番号43の軽鎖可変領域C D R 1；配列番号57の軽鎖可変領域C D R 2；および配列番号71の軽鎖可変領域C D R 3、

(b) 配列番号2の重鎖可変領域C D R 1；配列番号16の重鎖可変領域C D R 2；配列番号30の重鎖可変領域C D R 3；配列番号44の軽鎖可変領域C D R 1；配列番号58の軽鎖可変領域C D R 2；および配列番号72の軽鎖可変領域C D R 3、

(c) 配列番号3の重鎖可変領域C D R 1；配列番号17の重鎖可変領域C D R 2；配列番号31の重鎖可変領域C D R 3；配列番号45の軽鎖可変領域C D R 1；配列番号59の軽鎖可変領域C D R 2；および配列番号73の軽鎖可変領域C D R 3、

(d) 配列番号4の重鎖可変領域C D R 1；配列番号18の重鎖可変領域C D R 2；配列番号32の重鎖可変領域C D R 3；配列番号46の軽鎖可変領域C D R 1；配列番号60の軽鎖可変領域C D R 2；および配列番号74の軽鎖可変領域C D R 3、

(e) 配列番号5の重鎖可変領域C D R 1；配列番号19の重鎖可変領域C D R 2；配列番号33の重鎖可変領域C D R 3；配列番号47の軽鎖可変領域C D R 1；配列番号61の軽鎖可変領域C D R 2；および配列番号75の軽鎖可変領域C D R 3、

(f) 配列番号6の重鎖可変領域C D R 1；配列番号20の重鎖可変領域C D R 2；配列番号34の重鎖可変領域C D R 3；配列番号48の軽鎖可変領域C D R 1；配列番号62の軽鎖可変領域C D R 2；および配列番号76の軽鎖可変領域C D R 3、

(g) 配列番号7の重鎖可変領域C D R 1；配列番号21の重鎖可変領域C D R 2；配列番号35の重鎖可変領域C D R 3；配列番号49の軽鎖可変領域C D R 1；配列番号63の軽鎖可変領域C D R 2；および配列番号77の軽鎖可変領域C D R 3、

(h) 配列番号8の重鎖可変領域C D R 1；配列番号22の重鎖可変領域C D R 2；配列番号36の重鎖可変領域C D R 3；配列番号50の軽鎖可変領域C D R 1；配列番号64の軽鎖可変領域C D R 2；および配列番号78の軽鎖可変領域C D R 3、

(i) 配列番号9の重鎖可変領域C D R 1；配列番号23の重鎖可変領域C D R 2；配列番号37の重鎖可変領域C D R 3；配列番号51の軽鎖可変領域C D R 1；配列番号65の軽鎖可変領域C D R 2；および配列番号79の軽鎖可変領域C D R 3、

(j) 配列番号10の重鎖可変領域C D R 1；配列番号24の重鎖可変領域C D R 2；配列番号38の重鎖可変領域C D R 3；配列番号52の軽鎖可変領域C D R 1；配列番号66の軽鎖可変領域C D R 2；および配列番号80の軽鎖可変領域C D R 3、

(k) 配列番号11の重鎖可変領域C D R 1；配列番号25の重鎖可変領域C D R 2；配列番号39の重鎖可変領域C D R 3；配列番号53の軽鎖可変領域C D R 1；配列番号67の軽鎖可変領域C D R 2；および配列番号81の軽鎖可変領域C D R 3、

(l) 配列番号12の重鎖可変領域C D R 1；配列番号26の重鎖可変領域C D R 2；配列番号40の重鎖可変領域C D R 3；配列番号54の軽鎖可変領域C D R 1；配列番号68の軽鎖可変領域C D R 2；および配列番号82の軽鎖可変領域C D R 3、

(m) 配列番号13の重鎖可変領域C D R 1；配列番号27の重鎖可変領域C D R 2；

配列番号 4 1 の重鎖可変領域 C D R 3 ; 配列番号 5 5 の軽鎖可変領域 C D R 1 ; 配列番号 6 9 の軽鎖可変領域 C D R 2 ; および配列番号 8 3 の軽鎖可変領域 C D R 3 、または

(n) 配列番号 1 4 の重鎖可変領域 C D R 1 ; 配列番号 2 8 の重鎖可変領域 C D R 2 ; 配列番号 4 2 の重鎖可変領域 C D R 3 ; 配列番号 5 6 の軽鎖可変領域 C D R 1 ; 配列番号 7 0 の軽鎖可変領域 C D R 2 ; および配列番号 8 4 の軽鎖可変領域 C D R 3

を含む、請求項4又は5に記載の使用するための A c t R I I 受容体アンタゴニスト。

【請求項 7】

該抗体が、配列番号 1 4 6 ~ 1 5 0 および 1 5 6 ~ 1 6 0 からなる群から選択される少なくとも 1 つの配列に対して少なくとも 9 5 % の配列同一性を有する完全長重鎖アミノ酸配列を含む、請求項6に記載の使用するための A c t R I I 受容体アンタゴニスト。

【請求項 8】

該抗体が、配列番号 1 4 1 ~ 1 4 5 および 1 5 1 ~ 1 5 5 からなる群から選択される少なくとも 1 つの配列に対して少なくとも 9 5 % の配列同一性を有する完全長軽鎖アミノ酸配列を含む、請求項6又は7に記載の使用するための A c t R I I 受容体アンタゴニスト。

【請求項 9】

該抗体が：

- (a) 配列番号 9 9 の可変重鎖配列および配列番号 8 5 の可変軽鎖配列；
- (b) 配列番号 1 0 0 の可変重鎖配列および配列番号 8 6 の可変軽鎖配列；
- (c) 配列番号 1 0 1 の可変重鎖配列および配列番号 8 7 の可変軽鎖配列；
- (d) 配列番号 1 0 2 の可変重鎖配列および配列番号 8 8 の可変軽鎖配列；
- (e) 配列番号 1 0 3 の可変重鎖配列および配列番号 8 9 の可変軽鎖配列；
- (f) 配列番号 1 0 4 の可変重鎖配列および配列番号 9 0 の可変軽鎖配列；
- (g) 配列番号 1 0 5 の可変重鎖配列および配列番号 9 1 の可変軽鎖配列；
- (h) 配列番号 1 0 6 の可変重鎖配列および配列番号 9 2 の可変軽鎖配列；
- (i) 配列番号 1 0 7 の可変重鎖配列および配列番号 9 3 の可変軽鎖配列；
- (j) 配列番号 1 0 8 の可変重鎖配列および配列番号 9 4 の可変軽鎖配列；
- (k) 配列番号 1 0 9 の可変重鎖配列および配列番号 9 5 の可変軽鎖配列；
- (l) 配列番号 1 1 0 の可変重鎖配列および配列番号 9 6 の可変軽鎖配列；
- (m) 配列番号 1 1 1 の可変重鎖配列および配列番号 9 7 の可変軽鎖配列；または
- (n) 配列番号 1 1 2 の可変重鎖配列および配列番号 9 8 の可変軽鎖配列

を含む、請求項6~8のいずれか一項に記載の使用するための A c t R I I 受容体アンタゴニスト。

【請求項 10】

該抗体が：

- (a) 配列番号 1 4 6 の重鎖配列および配列番号 1 4 1 の軽鎖配列；
- (b) 配列番号 1 4 7 の重鎖配列および配列番号 1 4 2 の軽鎖配列；
- (c) 配列番号 1 4 8 の重鎖配列および配列番号 1 4 3 の軽鎖配列；
- (d) 配列番号 1 4 9 の重鎖配列および配列番号 1 4 4 の軽鎖配列；
- (e) 配列番号 1 5 0 の重鎖配列および配列番号 1 4 5 の軽鎖配列；
- (f) 配列番号 1 5 6 の重鎖配列および配列番号 1 5 1 の軽鎖配列；
- (g) 配列番号 1 5 7 の重鎖配列および配列番号 1 5 2 の軽鎖配列；
- (h) 配列番号 1 5 8 の重鎖配列および配列番号 1 5 3 の軽鎖配列；
- (i) 配列番号 1 5 9 の重鎖配列および配列番号 1 5 4 の軽鎖配列；または
- (j) 配列番号 1 6 0 の重鎖配列および配列番号 1 5 5 の軽鎖配列

を含む、請求項6~9のいずれか一項に記載の使用するための A c t R I I 受容体アンタゴニスト。

【請求項 11】

心不全の治療および / または予防に使用するビマグルマブ。

【請求項 12】

前記心不全が、心臓弁膜症、冠動脈疾患、高血圧、糖尿病、老化、不整脈、周産期心筋症、ストレス心筋症、毒性または感染性因子、遺伝性心筋症、または特発性拡張型心筋症の少なくとも1つによって引き起こされるまたは関連付けられる、請求項1_1に記載の心不全の治療および／または予防に使用するためのビマグルマブ。

【請求項1_3】

前記心臓弁膜症が大動脈狭窄症である、請求項1_2に記載の心不全の治療および／または予防に使用するためのビマグルマブ。